

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

ベトレヘムの風

発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.105

『三寒四温は心の糧』

院長 青木 信彦



今年の冬も風が冷たく、春の訪れを待ちわびました。

「三寒四温」は20年前に亡くなった母の大好きな言葉でした。

むかし、子供たちが「寒い、寒い!」と言うと、母はいつも、「もうじき三寒四温、寒い日もあるけれど、温かい日が少しずつ多くな

って、春になるんだよ。もう少しの辛抱ですよ」、が口癖でした。

子供の頃の私も、この言葉に励まされて、寒さを我慢してきました。わたしの育った故郷は赤城おろしの空っ風で知られる北関東・栃木の足利です。

母にとって「三寒四温」という言葉は気候のことだけでなく、「人生に立ち向かう気持ち」を表していました。

母にとって幸せの人生のはずだった30歳代初めのことです。6歳の可愛い盛りの長男の突然の死に直面しました。

さらに、父の出兵中の東京大空襲で財産のすべてを失いました。

「三寒四温」は母の生き抜く「心の糧」だったのでしょうか。

「辛いことも多いけれど、立ち向かって行くうちに良いこともある」と言っていたのが印象的です。

私の知る限り、「決して挫折しない人間」で「楽天主」でもありました。

「生まれつき強い」などという人間はいません。

誰も「コテンパンに打ち負かされて」それを繰り返しているうちに強くなるのです。

母の強さも、「どん底から這い上がってきた」という経験によるものでしょう。

3人の子供が一人前になった後は、「社会への貢献」が生きが이었다ようです。

「家庭は質素に、社会は豊かに」という言葉どおりの生活

をしていました。

そして、私たちに「すべての人に愛を」という言葉を残してこの世を去りました。

きょうは「子供の死」と「悲惨な戦争」を体験したひとりの人間の「次の世代へ伝える言葉」を思い起こしてみました。

ところが、実家のある足利についてとんでもないニュースが飛び込んできたのはつい2月の末でした。

足利市本城（ほんじょう）地区が山火事の現場で、急速に周囲へ炎上する様子が報道されました。

山火事の現場の両崖山（りょうがいがさん）は実家の病院の目の前です。

見慣れていた両崖山は見る姿もなくなり、山から焦げたにおいと煙が押し寄せてきます。

最大のピンチは2月26日（金曜日）、患者さんの転送を余儀なくされました。

一度は鎮圧されたかと思ったのですが、病院の裏山から火の手が上がりました。

病院職員は消防隊や自衛隊とともに夜を徹しての消火活動、なんとか最後の砦を死守したのです。

こんなメールを実家からもらって、思わず涙です。

そうです！ 父母

が心血を注いで作った病院です。山火事であろうと地震・台風であろうとやすやすと手放すわけにはいきません。寸前まで来た山火事の鎮圧には、今は亡き、父母の魂が乗り移ったのです。



院長室の椅子に座ると、目の前に「母の遺言」が目に入ります

ベトレヘムのQI（クオリティ・インディケーター）

ベトレヘムの園病院 QI（クオリティ インディケーター）						(2021年3月4日更新)		
領域	評価区分	項目	指標名	算出方法・時期			2021年1月実績	
看護・介護	アウトカム評価	1	看取り患者の個室対応実績 (個室での看取り環境を提供出来た割合 %)	(計算方法)	分子	【個室での看取り環境を提供出来た患者数】	80.0	%
					分母	【すべての看取り患者数】		
				(収集時期)	毎月（年12回）			
				<指標解説>	看取りの時期を控えた患者さんとご家族に、ゆとりある個室環境を提供出来る体制を整えております			
看護・介護 (医療安全)	アウトカム評価	6	入院患者の転倒・転落発生率 A)全転倒・転落発生率（%）	(計算方法)	分子	【入院患者の転倒・転落件数】	0.04	%
					分母	【調査月の入院患者延べ数】 (※24時在院患者＋退院患者数の合計)		
				(収集時期)	毎月（年12回）			
				<指標解説>	離床センサーの活用や適切な間隔の訪室により、患者さんの転倒・転落リスクを最小限に抑えております			
チーム医療	プロセス評価	14	ケアカンファレンス実施割合 (%)	(計算方法)	分子	【調査月の在院患者のうち、1回以上医師・看護師・コメディカルによるカンファレンス記録のある患者数】	79.0	%
					分母	【調査月の在院患者数】		
				(収集時期)	毎月（年12回）			
				<指標解説>	毎週のケアカンファレンスを通じて、多職種協働による質の高い医療・介護の提供に尽力しております			
チーム医療	アウトカム評価	17	外来患者の評価 受診・相談で患者さんの意思や思いを尊重しているか（%）	(計算方法)	分子	【分母のうち、受診や相談の時、患者さんの思いを尊重する対応をしていますかの質問に「していると感じる」と答えた患者の割合】	81.6	%
					分母	【調査に答えた外来患者数】		
				(収集時期)	年1回（2019年度3月調査）			
				<指標解説>	当院の外来アンケートは、患者さんが当院の診療を受けて経験したことをもとに質問を設定しています 患者さんの本音をしっかりと受け止めます			
リハビリ	プロセス評価	18	リハビリテーション介入までの日数 (日)	(計算方法)	分子	【分母の内、入院日からリハビリテーションを最初に算定された日までの日数】	3.0	日
					分母	【調査月の入院症例のうち、リハビリを実施した症例数】		
				(収集時期)	毎月（年12回）			
				<指標解説>	早期のリハビリ開始により、身体機能の維持や褥瘡の防止、そしてADL、QOLの改善に繋げていきます			

当院ではホームページ上で「医療の質」を数字で評価したQI(クオリティ・インディケーター)を毎月更新しています。掲載する内容は診療実績に留まらず、療養型病院として大事にしている「看取り」についての指標として、「個室での看取り実績」を掲載しています。新年度

からは職員満足度の指標となる「チームワーク」「仕事への誇り(プライド)」を指標として採用する予定です。「良い医療・介護サービスは良い職場環境から生まれる」という価値観を大切にしている取組です。

ベトレヘム×SDGs



ベトレヘムの園病院では、国連が採択した全世界共通の17の「持続可能な開発目標」と中期事業計画(BSC)を連動させる取組に来年度から挑戦します。

SDGsには、「貧困」「健康と福祉」「教育」「ジェンダー平等」「環境問題」「働きがい」「ICT」「まちづくり」など、社会

福祉法人の施設として日常的に取り組んでいるテーマと合致する内容が多くあります。コロナ禍の今だからこそ、職員一人ひとりが広い視野を持つことを大事にしていきたいと考えます。

〈看護部ブログ2020年の抜粋より〉



2020年2月
マイスタープロに
なりました

2020年3月
世界病者の日
祈りの集い



2020年5月
ご家族のためにできること
コロナ禍で面会制限のある
患者様全員のご家族に向け
てお便りをしました



2020年7月
永年勤続表彰



2020年9月
リラ・プレカリア
祈りの竖琴を患者
様の呼吸に合わせ
て奏でます



2020年12月
ベトレヘムの園病院クリスマス
三密に気を付けて院内にてスタッフと
患者様でお祝いしました



社会福祉法人 慈生会 ベトレヘムの園病院

BETHLEHEM GARDEN HOSPITAL

〒204-0024 東京都清瀬市梅園3-14-72

☎ 042-491-2525

[ホーム](#) [病院概要](#) [診療案内](#) [部署紹介](#) [Blog](#) [採用サイト](#) [アクセス](#) [お問合せ](#)

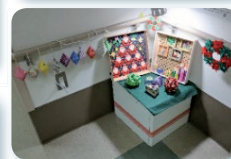
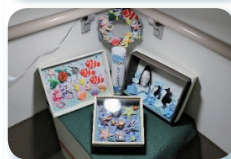
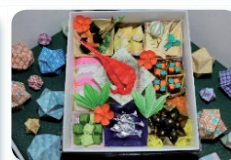
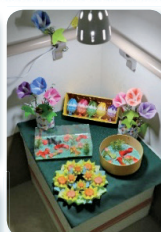
ベトレヘムの園病院のブログは
ホームページから閲覧出来ます。

広報誌のベトレヘムの風最新号
やお知らせ、病院の行事や様子な
どタイムリーな情報をお届けして
います。



左記のQRコードから
ホームページに入れます

当院ブログに載っている長永江さんの折り紙の作品は、待合ロビーにいつも飾られています。季節感あふれる花などの立体的な作品には心癒される効果があります。先日、作品を作られている長さんに単独インタビューをさせて頂きました。次号以降で作品に込められた思いや作品の数々をご紹介していきたいと思っておりますので楽しみに。近くにお立ち寄りの際はちらっと作品をご覧になってください。



ひふの話

その
57

市川 雅子(皮膚科医師)

新型コロナでみられる皮膚症状

今回は新型コロナに罹った時にみられる皮膚症状についてです。この病気の流行が始まって1年が過ぎました。そして様々なことが少しずつわかってきています。皮膚症状もそのひとつです。新型コロナに限らず、ウイルス感染症では多様な皮膚症状がおりやすく、その中には発疹が特徴的で見るだけで診断がつく病気(例えば水ぼうそうなど)もあれば、発疹だけでは診断がつかないものもあります。新型コロナの場合は主として後者で、赤い斑点やブツブツ、じんましん、大小の紫斑、網目状の赤紫色斑(網状皮斑)、水疱や潰瘍などいろいろな発疹が出るようです。これらの発疹を見ただけでは、新型コロナなのか? 他の病気なのか? 薬疹なのか? など区別がつきません。その一方で新型コロナに特徴的として有名になった発疹があります。それは「コロナのつま先(Covid toes)」と呼ばれる、足の指などに出る「しもやけ」に似た赤い発疹です。寒い時期でもないのに、そのような発疹が新型コロナの感染者に多数出たため注目されて

います。また、新型コロナに感染してしばらく経ってから出てくる症状として話題になっているのが脱毛です。その機序はまだわかっていないようですが、感染者のおよそ4分の1で見られるようです。さらに、子供の感染者の中で「川崎病」(この病気も全身に赤い発疹が出ます)に似た症状の患者さんがいるという複数の報告があります。これは発疹だけでなく、下痢や発熱、心臓の動きが悪くなるなどの症状が起こるため「新型コロナウイルス感染症に伴う小児多系統炎症症候群」として調査が始まっています(日本川崎病学会HP参照)。新型コロナは、無症状の人や軽症で治ってしまう人がいる一方で、年齢に関係なく免疫系、血管系、血液系など全身に異常を起こしてくる可能性があるウイルス感染症であり、引き続き手洗いやマスクなどをしっかりおこない注意していきましょう。



お知らせ

①ボランティア交流会中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、今年度のボランティア交流会を中止させていただきます。どうぞご了承ください。

②新しい「顔認証温度検知システム」が入りました

自動で検温や、マスクの着用をチェックします。

感染予防にご協力ください。

(※写真)



編集後記

年明けと同時に修道院の庭の蠟梅が咲きだし、節分にはヨゼフの庭に紅白の梅が咲きそろいました。コロナ対策として24時間換気している休憩室の窓の隙間から、その梅の香りのお裾分けをいただいてほっと一息。足元には水仙が一斉に花開いたなあ、と思っていると、今度は病院の庭の

こぶしが、ひとつ、ふたつ…気が付けば今日はもう数えるには大変なほど咲いてしまいました。世の中や私たちの生活がどんなに大変でも逆境と感じる中でも、必ず時は流れて春がやってくるのだなあ。。(N.M.)